

# J A グループ宮城 災害復興ニュース ( 総合版 )

第 3 8 号

【平成 24 年 3 月 5 日 ( 月 ) 発行】  
発行：J A グループ宮城災害復興本部  
編集：J A 宮城中央会  
〒980-0011 仙台市青葉区  
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F  
電話番号：022-264-8697 又は 264-8207  
FAX 番号：022-216-4466  
E-mail：jataisaku@gmail.com

## 《目次》

### I. 復興本部からの情報提供

1. 農業復興へ J A 組合長と知事が懇談会
2. 地元製品の販路拡大へ復興商談会
3. JA バンク香川、J A 愛知中央会などから義援金
4. 原発事故損害賠償宮城県協議会が東京電力に第 6 次請求
5. 県農青連・女性協が県選出国會議員と懇談会
6. 県農青連が農業政策の充実などを村井知事に要請
7. 県内 5 J A の資本増強が決定
8. 広島の姉妹ユニットが宮農高に楽器を贈呈、卒業式でライブ演奏

### I. 復興本部からの情報提供

#### 1. 農業復興へ J A 組合長と知事が懇談会

宮城の農業復興に向けて県と綿密な連携をはかろうと 2 月 3 日、県知事と県内 J A 組合長との懇談会が開かれました。県からは村井嘉浩知事、若生正博副知事、千葉宇京部長はじめ農林水産部の幹部など約 20 人が参加しました。

各組合長が、津波被災田の早急な復旧、汚染稲わら対策、担い手確保対策、園芸産地づくりへ国の予算で盛り土を、などと要請したのに対して村井知事は「皆さんの目指していることと我々が目指していることは同じ。いただいた意見を持ち帰り、しっかり対応したい。放射能問題については力を合わせて国、東京電力にものを言っていきたい」と語りました。



## 2. 地場産品の販路拡大へ復興商談会

地場産品の販路拡大を進め、地域産業の復興につなげようと、農林中央金庫とJA全農みやぎ、JAグループ宮城「県産県消」推進協議会は2月9日、仙台市青葉区のウェスティンホテル仙台で復興商談会を開きました。県内のJAや農業法人などが37チームを編成。首都圏や地元の小売り、外食、加工メーカーなど参加した48社に特産品を売り込みました。

商談数は244件にのぼり、その後の調査によると、成約見込みが21件、商談継続が170件あり、今後の成果が期待されます。



## 3. JAバンク香川、JA愛知中央会などから義援金

香川県信連の宮武利弘会長と岡山勝管理部長、農林中金高松支店の蛭田泰昭支店長の3人が2月17日、仙台を訪れ、JAグループ宮城に義援金を贈りました。JAバンク香川ではオリジナル企画として昨年8月1日から「東北農業応援定期貯金アグリ」の取り扱いを開始（平成24年7月31日まで）。1月末で中間取りまとめを行い、5,099件、80億5700万円の預け入れがあったことから、その0.1%相当分を岩手、宮城、福島3県のJAグループに寄贈しました。

3月2日にはJA愛知中央会の倉内巖会長、伊藤寿治専務が仙台を訪れ、「復興に役立ててください」と、JAグループ宮城に義援金を贈りました。

また、2月27日には、JA全農みやぎの取引先である株誠和（大山祐造社長）もJAグループ宮城に義援金を贈りました。

## 4. 原発事故損害賠償宮城県協議会が東京電力に第6次請求

JAグループ東京電力原発事故農畜産物損害賠償宮城県協議会は2月20日、第6回総会を開き、東京電力に対する第6次請求額を13億6521万2,490円と決定し、2月24日に東京電力に請求しました。廃用牛の価格下落等の損害と米の放射性物質調査費用を初めて請求しました。

第3次請求分の銘柄加算額と出荷制限期間外の死亡牛について、東電が補償に応じられないとされていることから、早期の支払いを求めて引き続き交渉を継続します。

## 5. 県農青連・女性協が県選出国會議員と懇談会

宮城県農協青年連盟とJAみやぎ女性組織協議会は2月15日、東京都内で県選出国會議員と懇談会を開き、担い手対策や環太平洋経済連携協定（TPP）交渉参加阻止などを要請しました。

農青連と女性協から21人が参加。国會議員は橋本清仁、石山敬貴、岡崎トミ子、今野東（以上、民主党）、小野寺五典、秋葉賢也、愛知治郎、熊谷大（以上自民党）、井上義久（公明党）、斎藤やすのり（新党きづな）の10議員が出席しました。

## 6. 県農青連が農業政策の充実などを村井知事に要請

県農協青年連盟は3月2日、宮城県庁で村井嘉浩知事と懇談、農業政策の充実・強化、東日本大震災からの復旧・復興、TPP交渉参加反対などを要請しました。黒須和幸委員長は、村井知事に農業復興に向けて青年部がまとめた「ポリシーブック」を手渡し、一層の支援を要請しました。

村井知事は「若い人が農業に魅力を持てるように、全力で支援していきます」と答えました。



## 7. 県内5JAの資本増強が決定

東日本大震災の復興に向けて財務基盤を強化するため、被災した5JAが申請していた資本増強が3月1日、決定しました。昨年7月に改正された農漁協信用事業再編強化法（JAバンク法）の枠組みを活用し、資本増強額は、JA南三陸が13億5,000万円、JAいしのまきが54億7,000万円、JA仙台が105億1,000万円、JA名取岩沼が7億5,000万円、JAみやぎ亘理が18億6,000万円。今後、組合員の農業復興や生活再建につなげていきます。

## 8. 広島の姉妹ユニットが宮農高に楽器を贈呈、卒業式でライブ演奏

広島県出身の姉妹ユニット「Mebius」（メビウス）が3月1日、岩沼市民会館で行われた宮城農業高校の卒業式に訪れ、東日本大震災の被災者のために作ったチャリティーソングの収益金で購入した楽器を贈りました。

Mebiusは岡田真実さん、賀江さんの姉妹ユニットで、広島県を中心に活動。JA共済連広島のコマーシャルソングを歌っています。この日は、卒業式の後に、同校の吹奏楽部と一緒にライブコンサートを開催。卒業生にエールを送る「ありがとう、またね」を歌いました。

なお、今回の訪問にはJA広島中央会の上野敏弘農政広報部長が同行。JA広島中央会も同校に義援金を送りました。

以上